

# エココミュニティ創出事業報告書

平成 16 年 3 月

三重県環境部循環システム推進チーム

はじめに

20世紀が「大量生産・大量消費・大量廃棄」の資源消費型社会であったことから、地球温暖化のような地球規模の問題から身近なごみ問題まで様々な問題が起こっています。

「環境の21世紀」を迎え、人類の活動が自らの生存すらも脅かすような過大な環境負荷を与える状況から抜け出すためには、資源が循環する事による環境への負担の少ない持続的な発展が可能な資源循環型社会の構築が求められています。

そのためには、住民、事業者、行政といった地域社会の構成員それぞれが主体となって取り組むのはもちろん、それぞれがこれまでの枠を越えて、新たな役割分担と連携のもとで取り組むことが必要です。

同時にそれら新たな連携による、地域の特性や資源を生かした環境産業、地域産業等が資源循環型社会を支える基盤として存在する地域社会 - エココミュニティ - の創出に向けた取り組みも必要になっています。

本報告書では、現在、廃棄物としての発生量が多くリサイクル方法や事業の枠組みの検討が必要かつ可能である生ごみ・廃食油・刈り草・木くず・紙ごみの5種類の廃棄物について、アンケートや県内外の先進事例を参考に、廃棄物別にリサイクル方法、事業のモデルプラン、事業実施のためのマニュアルをまとめました。

本報告書が、様々な主体の協働、連携による廃棄物の循環的利用や環境産業の創出に向けての実践的な手引き書として県内でのエココミュニティづくりの一助となれば幸いです。

本報告書に掲載しているモデルプランについてはあくまで例示的なものであり、実際の事業実施にあたっては他にも様々な事業パターンが実施可能です。またマニュアルについては、事業実施にかかるすべての手続き等を網羅したものではなく、実際の事業実施については、関係機関との十分な協議の上での実施が必要です。なお本報告書の作成時点は平成16年3月時点であり、その後の廃棄物を取り巻く情勢の変化、法制度の改訂などにより新たな考慮事項等が生じる事があり得ます。

# 目 次

第 1 章 廃棄物のリサイクル	2
第 2 章 生ごみのリサイクル	6
2 - 1 生ごみの概要	6
2 - 2 リサイクル方法の現状	8
2 - 3 各種リサイクル方法の比較	11
2 - 4 リサイクルパターンの検討	13
2 - 5 モデルケースの提案	14
2 - 6 生ごみのリサイクルマニュアル	32
第 3 章 廃食油のリサイクル	42
3 - 1 廃食油の概要	42
3 - 2 リサイクル方法の現状	44
3 - 3 各種リサイクル方法の比較	46
3 - 4 リサイクルパターンの検討	48
3 - 5 モデルケースの提案	49
3 - 6 廃食油のリサイクルマニュアル	58
第 4 章 刈り草のリサイクル	68
4 - 1 刈り草の概要	68
4 - 2 リサイクル方法の現状	68
4 - 3 各種リサイクル方法の比較	70
4 - 4 リサイクルパターンの検討	71
4 - 5 モデルケースの提案	72
4 - 6 刈り草のリサイクルマニュアル	77
第 5 章 木くずのリサイクル	80
5 - 1 木くずの概要	80
5 - 2 リサイクル方法の現状	82
5 - 3 各種リサイクル方法の比較	86
5 - 4 リサイクルパターンの検討	88
5 - 5 モデルケースの提案	89
5 - 6 木くずのリサイクルマニュアル	97

第6章	紙ごみのリサイクル	102
6-1	紙ごみの概要	102
6-2	リサイクル方法の現状	104
6-3	回収方法の現状	107
6-4	リサイクルパターンの検討	112
6-5	モデルケースの提案	113
6-6	紙ごみのリサイクルマニュアル	118
第7章	関連法令および助成制度	126
7-1	関連法令	126
7-2	助成制度	127
第8章	アンケート結果	132
8-1	事業系廃棄物の排出実態	132
8-2	市町村における廃棄物の受入れ現状	155